



玉津のふくし



発行

玉津学区
社会福祉協議会
広報啓発部会

学区社協館外研修 10/23(木) 参加者32人

米原市河内区福祉委員会
ヤンマーミュージアム



米原市 河内区 河内会館で研修



ヤンマー
ミュージアム



玉津学区社会福祉協議会の館外研修として米原市河内区福祉委員会を訪問し、委員長から色々な活動内容の説明を受けました。

平成25年に始まった米原市の地域お茶の間創造事業「みんなの居場所づくりを応援します」に、いち早く参加され、河内お茶の間サロン事業を立ち上げられました。住民対象に募集したボランティアの皆さんとコミュニティカフェ・ごんせ(*)を毎週水・土にオープンされている他、健康づくりや学ぶ場所として月1回のサロン活動を会館で実施されています。2Kmの道のりを歩いて参加されるお年寄りの方もおられるようです。ロビーには住民のみなさんの絵画・書道や俳句などの作品が展示され和やかな雰囲気になっていました。玉津学区社協でも学区サロンを年2回、各自治会でも3~4回すこやかサロンなどを開催し参加者同士の交流を深められています。異なった環境の2学区の取り組みや活動内容について意見交換が行われ充実した研修となりました。(*)ごんせ: こんにちは。いらっしやいと言う親しみを込めた言葉



学区すこやかサロン 11/18(火) 地域総合センター遊戯室 参加者89人



小出課長



丸谷さん



玉津学区の今年度2回目のすこやかサロンが開催され、開会の一時間も前から楽しいおしゃべりサロンが始まりました。お口の体操を行ってからボランティアグループさんによる心づくしの昼食に舌鼓。午後のお楽しみ会は、先ず 日頃から顔なじみの玉津警察官駐在所・丸谷さんに交通安全、守山警察署生活安全課・小出課長さんに振り込めサギについて分かりやすくお話を頂きました。その後は滋賀県警察音楽隊の演奏を楽しみました。手拍子を打ちながら口ずさむ曲、しっとりとしながら、涙を浮かべながらと正に「高齢者の方々のライブハウス」となりました。寒い一日でしたが「次回も楽しみに シテマス!」と笑顔で帰路につかれました。

赤野井自治会

自治会すこやかサロン

矢島自治会

近松真由美
さん

10/21(火)

赤野井自治会館 参加者59人

午前中恒例の健康講座を行った後、皆さんで昼食を頂きました。昼食後の楽しみタイムでは地元出身の近松真由美さんの歌を聞き、後半は皆さんと一緒に懐かしい歌を歌いました。前半はソプラノでオペラの曲などが多かったのですが、後半は近松さんが用意された懐かしい歌を参加者のみなさんが選んで歌われました。『カラオケでよく歌った』と、ほとんどが得意な歌だったようで、楽しい時間を過ごされました。次回は12月11日(木)クリスマスサロンです。

芸術の秋そして食欲の秋らしくゆいの里の栄養士さんのご指導により、お昼はボランティアのみなさんによる手作りのお弁当(栗ごはん、さんまのフライなど)をおいしく頂きました。午後のお楽しみコーナーでは舞踊愛好家4人の方による日本舞踊を楽しまれ、うっとりとした後は歌を歌いながら手や身体や頭を使ったゲームをしたりと楽しい時間を過ごされました。おやつ後は恒例の「矢島の友よ」を歌って『また、今度!』と声を掛けながらお別れしました。

次回は来年4月お花見サロンの予定です。



10/27(月)

矢島自治会館
参加者71人

石田自治会は12月20日(土)、十二里自治会は12月7日(日)にクリスマスサロンが行われます。

在宅介護者のつとめ



11/7(金)

うを伊
参加者29人

日頃家族を介護されている皆さん、日々の疲れをいやして頂こうと開催されました。当日は10人の方にご参加頂き、はじめに食事をとりながら自己紹介で介護についての近況や日頃の悩みなどをお話して頂きました。食後には守山市社会福祉協議会の里内勝さんによるロコモティブシンドローム(*)やリラックスのお話をして頂きました。短い時間でしたが、参加された皆さんは介護についての知識を深められ、リフレッシュされて有意義な時間を過ごされました。

*ロコモティブシンドローム: 足腰が痛いなど関節や筋肉と言った運動器の疾患

♡玉津小学校に防災頭巾を贈呈♡

玉津赤十字奉仕団は11月4日(火)、玉津小学校1年生の皆さん30人に手作りの防災頭巾を贈呈されました。子供たちの好きなキャラクターの防災頭巾は災害に備えクッション性があり、燃えにくい素材を使用するなどの配慮がなされています。5月から5回に分けて作られ10月に完成しました。

これを機会に防災への関心が更に高まることを願って!



学区民生委員児童委員 館外研修

10/31
(金)人と防災
未来センター
参加者11人

館外研修で「人と防災未来センター」(神戸市)を訪問されました。平成7年1月17日午前5時46分「阪神・淡路大震災」の経験と教訓を未来に伝えるために作られたセンターで、先ず「5:46の衝撃」というコーナーで味わったことのない地震破壊の凄まじさを体験されました。様々なコーナーでの衝撃から《もしも》に備え、これから未来にむけた防災・減災への大切さを感じられました。玉津学区でも「自助」は勿論のこと、「共助」として住民組織で守る大切さと「普段から住民の皆さんとの交流が出来ていないと、災害時には対応出来ない」と常に災害に対する備えの大切さを学ばれました。